

## 板橋区のユニバーサルデザインの推進における課題認識について

### 1 板橋区ユニバーサルデザイン推進計画 2035（仮称）の策定について

板橋区は、ユニバーサルデザインを計画的に推進していくために、平成 29（2017）年 3 月に現計画である「板橋区ユニバーサルデザイン推進計画 2025」を策定した。計画期間は、平成 29（2017）年度から令和 7（2025）年度までの 9 年間である。

現計画が令和 7（2025）年度をもって満了することを鑑み、板橋区ユニバーサルデザイン推進計画 2025 の実績や評価を踏まえ、次の 10 年間（令和 8（2026）年度から令和 17（2035）年度）における板橋区のユニバーサルデザイン推進の羅針盤となる「板橋区ユニバーサルデザイン推進計画 2035（仮称）」の策定を進める。

なお、社会情勢の変化や関連計画との整合性を踏まえ、必要に応じて見直しを行っている。

### 2 板橋区のユニバーサルデザインの推進における課題認識について

区民アンケート調査結果から、今後のユニバーサルデザインの推進にあたっての現状の課題を抽出し、整理した。

#### (1)ユニバーサルデザインの普及と実践

ユニバーサルデザインの認知度をさらに高めていく必要がある。ユニバーサルデザインに対する理解や関心が高まる啓発等の推進に対するニーズが高いことから、こうした活動を通じて認知度を向上させ、区民・地域団体・事業者がユニバーサルデザインの考え方を正しく理解し、日常生活の中で実践につながる取り組みを行う。

#### (2)情報・コミュニケーションのユニバーサルデザイン化

SNS の普及などにより情報発信の手段が多様化し、区の情報を手軽に入手できるようになった。「だれもがわかりやすく、収集・利用しやすい情報の提供」はニーズとして最も高かったことから、ユニバーサルデザインの視点に立った、より質の高い情報提供や案内表示、多言語対応を行う。また、多様な人に配慮した窓口運営やコミュニケーション支援を充実させる。

#### (3)だれもが利用しやすいサービスの提供

デジタル技術を活用し、対面・オンライン共に利便性を高めることで多様な選択肢を提供し、区民サービスの向上に寄与している。一方で、オンライン化普及に伴うデジタル技術やインターネット利用の格差に対する不安があることから、だれもがデジタルの利便性を享受できるようにする。

#### (4)ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施設整備

道路・公園・トイレ・建物・公共交通機関のハード整備が進んだという評価の一方、これからのニーズに対しても高い割合を占めたことからより一層の整備が求められている。施設整備にあたっては、多様な利用者目線に立ち、庁内組織横断的に一丸となって取り組むとともに、関係機関と必要な協議・調整を行う。

#### (5)ユニバーサルデザインの視点に立った災害時・緊急時の備え

特に、「介護・介助者世帯」「障がい者世帯」からのニーズが高い。ユニバーサルデザインの視点に立った避難所整備や災害に関する情報発信等、全庁を通じた取組として備えを進める。

### 3 今後のスケジュールについて（予定）

令和8年3月の策定に向け、計画案の各段階において、本協議会 及び 庁内検討会、区議会、パブリックコメント等で広く意見を伺いながら進めていく。

年	令和7 (2025)												令和8 (2026)			
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
策定プロセス	調査・ 分析	基本方針作成				計画骨子案 作成			計画素案 作成		パブリッ クコメン トの実施		計画調整 (原案)		策定	
ユニバーサルデザイン 推進協議会		● 1/16				●					●			●		